

日本災害看護学会 先遣隊活動報告

4月20日（水）の活動

活動者：三澤寿美・小原真理子（本会先遣隊・DNSO 理事長）

本日の状況（2016年4月20日）

熊本市内の状況であるが、JR、バス、路面電車の一部区間が再開された。通勤と思われる方々の姿が多くみられた。コンビニエンスストアへの商品が増え始めていた。熊本市内では水道が一時使用可能となったようである

1. 行程ならびに訪問先

- 7:30 熊本市内ホテル出発（三澤）
- 8:40 熊本県看護協会到着
- 9:00 小原真理子 DNSO 理事長、DNSO メンバー高田昭彦氏と合流
- 9:15～11:15 熊本県看護協会 会長・副会長と面会
- 11:15 レンタカーで帰路へ

2. 活動内容

1) 熊本県看護協会

4月19日に訪問した市町の避難所の状況について、熊本県看護協会会長・同副会長さんに、報告を行った（内容は19日報告記録のとおり）。熊本県看護協会からは、①熊本市から避難所への派遣要請があったこと、②本日より九州圏内看護協会より支援ナースの派遣があること、③熊本市以外の市には県外支援ナースに直接入ってもらうこと、④日本看護協会の支援があること等の情報を得た。さらに避難者に対する支援ナースの役割として、医療支援とは異なる健康生活支援の必要性を語られた。また現地の看護職も被災しており、避難者への支援を行う必要性を考えてはいても、さまざまな面で混乱が生じているため、専門的な知見をもつ外部の方々に現地に来ていただいて、情報提供やアドバイス・支援があることが望ましいと要望された。